

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
16107007	生理人類学体系化の試み－実験生理人類学と理論生理人類学の視点から－	宮崎 良文（千葉大学・環境健康フィールド科学センター・教授）	B
<p>本研究は、実験・理論生理人類学の融合を通して、生理人類学の体系化を目標とするものである。研究の進展について、個々の生理学的実験データでは期待以上の成果が上がったと判断される。この実験データに関してはすでに多数の論文、著書、学会発表等が行われ、相当の成果が上がったものと判断できる。各分野への波及効果も期待できるほか、一般市民への成果公開にも大きな成果を上げている。その一方で、実験・理論分野の融合については、十分とは言い難い結果となっている。論文は公刊時期の関係もあり、27編の引用文献中、本研究の成果の引用は少ない状況である。したがって、「体系化」に関する進展については、明確でない。</p> <p>なお、個々の論文では実験と理論の融合を試みているので、今後、国内外の研究者との交流に基づく理論生理人類学の構築について、研究成果に基づいたさらなる研究の進展と、成果の公開を期待したい。</p>			